

- 問1 ある国で高齢化が進行し、医療や介護にかかる給付費が増大しています。この国が社会保障サービスの水準を低下させずに制度を存続させようとする場合、現実的にどのような政策をとる必要がありますか。最も適切なものを選びなさい。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
1. 現役世代の負担を全額免除し、給付費をすべて将来の世代への借金（公債）のみでまかなう。
  2. 給付費の増加を抑えるために、高齢者への給付サービスを大幅に拡充しながら負担も減らす。
  3. 給付水準を維持するために、国民の負担を極力抑える低負担の仕組みを導入する。
  4. 給付水準を維持するために、税や社会保険料など国民の経済的負担を増やして財源を確保する。
- 
- 問2 医療サービスの格差是正を目的として導入されている「ドクターヘリ」と「クラウド型電子カルテによる診療情報の共有」の役割について、その仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
1. 離島の病院をすべて廃止し、ドクターヘリのみで県内の全患者を拠点病院に運ぶ仕組み
  2. 情報の共有によって離島でも高度な判断を可能にし、緊急時には迅速に専門医のもとへ搬送する仕組み
  3. すべての住民を都市部の病院の近くへ移住させ、物理的な距離をなくすことで医療を効率化する仕組み
  4. 医療費を全額無料にすることで、所得の差に関わらず誰もが病院に通いやすくする仕組み
- 
- 問3 日本の税制において、所得税と消費税の「公平」に対する考え方を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）
1. 所得税には低所得者の負担を重くする逆進性があるため、消費税の税率を所得に応じて変動させることで、社会全体の税負担のバランスをとっている。
  2. 所得税は所得に関わらず一定の税率を課すことで公平を保ち、消費税は高額な商品ほど税率を高くする累進課税によって格差を是正している。
  3. 所得税は所得が高くなるほど税率が上がる累進課税を採用しており、消費税は所得の低い人ほど収入に対する税負担率が重くなる逆進性という性質を持っている。
  4. 所得税は納税者と税負担者が異なる間接税であり、消費税は納税者が直接国に納める直接税であるため、両者を組み合わせることで垂直的の公平を実現している。
- 
- 問4 日本の社会保障制度は、大きく分けて四つの柱から成り立っています。このうち、国民が病気、負傷、出産、死亡、老齢、失業などの際、あらかじめ出し合っていた保険料によって互いに助け合う仕組みを何といいますか。（2026年 長野県公立入試 類似）
1. 社会保険
  2. 公的扶助
  3. 社会福祉
  4. 公衆衛生
- 
- 問5 日本の社会保障制度は大きく4つの柱から成り立っています。その中で、人々があらかじめ保険料を出し合い、病気や失業、老齢などの困難に直面した際に給付を受ける仕組みを何といいますか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 社会福祉
  2. 公衆衛生
  3. 社会保険
  4. 公的扶助
- 
- 問6 日本の租税制度において、税金を納める義務がある「納税者」と、実際にその税金を負担する「担税者」が一致する税金の分類を何といいますか。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
1. 直接税
  2. 地方交付税
  3. 間接税
  4. 累進課税
- 
- 問7 租税のうち、税金を納める義務がある「納税者」と、実際にその税金を負担する「担税者」が異なるものを間接税と呼びます。この間接税に分類される税金として最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 法人税
  2. 消費税
  3. 固定資産税
  4. 所得税
- 
- 問8 各国の国内総生産（GDP）に占める社会保障支出の割合と、租税や社会保険料が国民所得に占める割合を示す「国民負担率」の関係について述べた文として、最も適切なものを選んでください。（2019年 熊本県公立入試 類似）
1. 一般に、GDPに占める社会保障支出の割合が高い国ほど、国民負担率も高くなる傾向にある。
  2. 国民負担率が高い国ほど、政府による社会保障サービスを抑制し、個人の自己責任を重視する傾向にある。
  3. 社会保障支出の割合と国民負担率の間には、統計上の明確な相関関係は見られない。
  4. 社会保障支出の割合が高い国では、民間の活力を利用するため国民負担率は低く抑えられる傾向にある。
- 
- 問9 日本の社会保障制度は「社会保障の四つの柱」によって構成されています。このうち、感染症の予防や健康増進、環境衛生の改善などを通じて、国民が健やかな生活を送れるようにするための公的な取り組みを何といいますか。（2025年 栃木県公立入試 類似）
1. 公衆衛生
  2. 社会保険
  3. 公的扶助
  4. 社会福祉
- 
- 問10 ある国の税制において、所得に関わらず全ての国民が所得の10%を納税する仕組み（比例税）と比較したとき、日本の所得税のような「所得が高いほど税率が上がる仕組み」の特徴として正しいものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 所得の多寡に関わらず、国民一人ひとりが負担する税額が全く同じになる
  2. 物価が上昇した際、低所得者ほど税の負担感が重くなる逆進性が生じる
  3. 高所得者ほど高い税率が適用されるため、低所得者との所得格差が縮小しやすい
  4. 税率が一定であるため、所得の計算や納税の手続きが簡略化される
- 
- 問11 日本の社会保障制度において、医療機関での治療に関わる「社会保険」の仕組みと、その他の柱である「公衆衛生」や「社会福祉」を区別する説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 国民が事前に保険料を出し合い、病気やけがなどの不測の事態に備えて医療費を相互に支え合う仕組み。
  2. 生活に困窮する人々に対し、国が最低限の生活を保障するために公費から生活費などを支給する仕組み。
  3. 下水道の整備や感染症の予防、公害の監視などによって、国民の健康な生活環境を整える仕組み。
  4. 高齢者や障害者など、社会的な支援を必要とする人々に対して、専門の施設や介護サービスを提供する仕組み。
- 
- 問12 公的な社会保障制度のあり方について、国民が支払う税金や社会保険料などの「負担」と、国から受け取る年金や医療などの「給付」の関係は国によって異なります。アメリカ合衆国に見られる、公的な社会保障を生活困窮者などの限定的な範囲にしぼりこむ代わりに、国民の金銭的な負担を抑える国家モデルの考え方として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 税金や社会保険料の低い負担を維持し、公的な保障範囲を限定する仕組み。
  2. 中程度の負担を維持し、失業対策などの社会保険制度をバランスよく充実させる仕組み。
  3. 高い負担によって、高齢者福祉や教育などあらゆる分野を国が支える仕組み。
  4. 公的扶助をすべて廃止し、社会保障の全領域を民間の保険会社に委ねる仕組み。
- 
- 問13 日本の所得税などで採用されている、所得が高くなるにつれて適用される税率も段階的に高くなる課税方式を何といいますか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 源泉徴収
  2. 逆進性課税
  3. 一律課税
  4. 累進課税